

目 次

詳細は 10 月に発表される入試要項で確認してください。
コンポーザー=ピアニストコースの課題が変更になりました。 9 月 15 日

1. 鍵盤楽器

入学試験科目	1
--------	---

◇課題曲

■ <u>ピアノ</u>	2
■ <u>ピアノ演奏家コース</u>	2
■ <u>ピアノ・創作コース</u>	3
■ <u>コンポーザー=ピアニストコース</u>	4
■ <u>チェンバロ</u>	4
■ <u>オルガン</u>	4

2. 弦・管打楽器

入学試験科目	5
--------	---

◇課題曲 弦楽器

■ <u>ヴァイオリン</u>	6
■ <u>ヴィオラ</u>	7
■ <u>チェロ</u>	7
■ <u>コントラバス</u>	8
■ <u>ハープ</u>	8
■ <u>クラシックギター</u>	8

◇課題曲 木管楽器

■ <u>フルート</u>	9
■ <u>オーボエ</u>	9
■ <u>クラリネット</u>	10
■ <u>ファゴット</u>	10
■ <u>サクソフォーン</u>	10

◇課題曲 金管楽器

■ <u>ホルン</u>	12
■ <u>トランペット</u>	12
■ <u>トロンボーン</u>	13
■ <u>バス・トロンボーン</u>	13
■ <u>チューバ</u>	13
■ <u>ユーフォニアム</u>	13

◇課題曲 打楽器

■ <u>ティンパニ</u>	14
■ <u>小太鼓</u>	14
■ <u>マリンバ</u>	14

② 器楽専攻

鍵盤楽器

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

- (1) 大学入学共通テストの成績を利用する。出願者は大学入学共通テストの「外国語」を必ず受験すること。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す。

※上記に代わるものとして、以下のいずれかの資格を利用できる。出願時に証明書の原本を1種類提出すること（文部科学省が公表したCEFRとの対照表「A2」以上）

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定試験
- ・GTEC
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

- (2) 一般選抜（B日程）は、調査書の評定を利用する（大学入学共通テストは利用しない）。

~~2. 楽典~~

~~3. 新曲視唱—8小節程度の旋律を1曲~~

~~別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。~~

~~4. 聴音：旋律聴音（8小節程度）.....各専攻共通1題および専攻別1題~~

~~和声聴音.....大譜表による四声（密集）、8小節程度~~



~~5. 副科実技（ピアノ）※オルガン志願者のみ~~

~~J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。暗譜で演奏すること。~~

~~6. 2. 専攻実技~~

課題曲

■ピアノ

⇒ 暗譜で演奏すること。

次のA課題またはB課題を選択すること。

A課題

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）
- (2) 次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の2曲（同一作曲家の組み合わせでなくても可）
 - （イ）モシュコフスキー Op. 72
 - （ロ）クレメンティ
 - （ハ）チェルニーOp. 740（50番練習曲）
 - （ニ）モシェレス
 - （ホ）ショパン Op. 10、Op. 25（Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7を除く）
- (3) 自由曲（5分以上8分程度。複数曲可）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B課題

自由曲（12分以上17分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）
省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

■ピアノ演奏家コース

⇒ 暗譜で演奏すること。

次のA課題またはB課題を選択すること。

A課題

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）
- (2) ショパン『練習曲集』Op. 10、Op. 25より任意の2曲（Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7を除く）
- (3) 次の①または②を選択すること。
 - ① 次の（イ）～（ト）の練習曲集より任意の1曲
 - （イ）リスト
 - （ロ）ドビュッシー
 - （ハ）スクリャービン Op. 8、Op. 42、Op. 65
 - （ニ）ラフマニノフ Op. 33、Op. 39
 - （ホ）プロコフィエフ Op. 2
 - （ヘ）バルトーク Op. 18
 - （ト）リゲティ
 - ② ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から、任意の1楽章
- (4) 自由曲（12分以上15分程度。複数曲を演奏する場合は、楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B 課題

自由曲（25 分以上 30 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

■ピアノ・創作コース

（1）ピアノ実技 次の A 課題または B 課題を選択すること。

⇒ 暗譜で演奏すること。

A 課題

① J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意のプレリュードまたはフーガ

②次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の 1 曲

（イ）モシュコフスキー Op. 72

（ロ）クレメンティ

（ハ）チェルニー Op. 740（50 番練習曲）

（ニ）モシェレス

（ホ）ショパン Op. 10、Op. 25（Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7 を除く）

③自由曲（5 分以上 8 分程度。複数曲可）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B 課題

自由曲（12 分以上 17 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

（2）作品提出

自作の楽譜を 1 曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

■コンポーザー＝ピアニストコース

※一般選抜（B日程）では、募集しません。

（１）ピアノ実技 次のA課題またはB課題を選択すること。

⇒ 暗譜で演奏すること。

A課題

① J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

② 次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の2曲（同一作曲家の組み合わせでなくても可）

（イ）モシュコフスキー Op. 72

（ロ）クレメンティ

（ハ）チェルニー Op. 740（50番練習曲）

（ニ）モシェレス

（ホ）ショパン Op. 10、Op. 25（Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7を除く）

③ 自由曲（5分以上8分程度。複数曲可）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B課題

自由曲（12分以上17分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

（２）作曲

① 和声

（イ）転調および非和声音を含むバス課題（2時間）

（ロ）転調および非和声音を含む課題ソプラノ課題（2時間）

② 作品提出 1曲ないし2曲（組曲は1曲とみなす）

※編成、演奏時間は任意

※出願書類に同封できない場合は別送可。

■チェンバロ

（１）J. S. バッハ『3声のシンフォニア』（BWV 787-801）より任意の3曲

（２）F. クーブラン『クラヴサン奏法』（L'art de toucher le clavecin）よりプレリュード No. 5 または No. 7

（３）初見視奏（バロックの様式による舞曲もしくはそれに準ずる小曲）

■オルガン

（１）J. S. バッハ『オルガン小曲集』（Orgelbüchlein BWV 599-644）から任意の5曲

（２）任意のオルガン曲1曲（コラール編曲以外の作品とする）

※暗譜の必要なし。

※アシスタントの要、不要を専攻別曲目記入票に記入すること。

※試験日以前に、レジストレーションのための若干の練習時間を与える。

弦・管・打楽器

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

- (1) 大学入学共通テストの成績を利用する。出願者は大学入学共通テストの「外国語」を必ず受験すること。

「英語」は筆記とリスニングの双方を課す。

※上記に代わるものとして、以下のいずれかの資格を利用できる。出願時に証明書の原本を1種類提出すること（文部科学省が公表したCEFRとの対照表「A2」以上）

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定試験
- ・GTEC
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

- (2) 一般選抜（B日程）は、調査書の評定を利用する（大学入学共通テストは利用しない）。

~~2. 楽典~~

~~3. 新曲視唱—8小節程度の旋律を1曲~~

~~別室で1～2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。~~

~~4. 聴音—旋律聴音（8小節程度）……………各専攻共通1題および専攻別1題~~

~~和音聴音……………高音部譜表による三和音、4小節程度~~

~~【問題例】 a minor イ短調 2/4拍子 4小節~~



~~5. 副科実技（ピアノ）~~

~~自由曲：ソナチネ、ソナタ・アルバム程度の曲目を1曲または1楽章。~~

~~※抜粋の場合は、専攻別曲目記入票に楽章等を明記すること。~~

~~※暗譜で演奏すること。~~

~~6.~~

2. 専攻実技

弦楽器課題曲

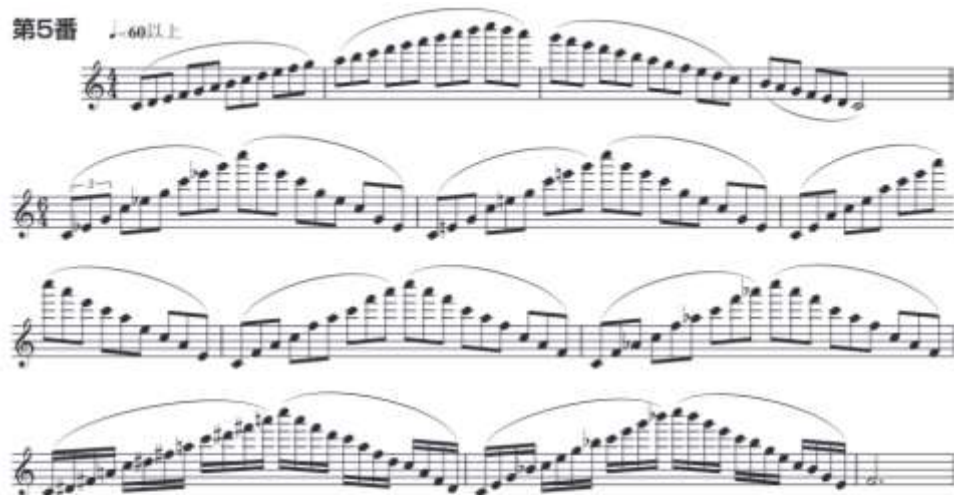
■ヴァイオリン

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch: Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8番を演奏する。運指の指定なし。

- ① 第5番は冒頭から12小節目までを演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上（スラーは下記のC-durに準ずる）
- ② 第6、7、8番は各々冒頭から4小節目までを、速やかに続けて演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上（スラーは16分音符4個以上とする。1小節2弓でも可。下記の第6番参照）

第5番 $\text{♩}=60$ 以上



第6番 $\text{♩}=60$ 以上



(2) 練習曲

P. Rode、J. Dont (Op. 35), N. Paganini の練習曲、カプリスより任意の1曲

(3) 任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァを含む）

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること（出版譜に限る）。

※演奏によりヴィオラに適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。

■ヴィオラ

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system より、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8 番を演奏する。運指、運弓の指定なし。

- ① 第5番は冒頭から12小節目までを演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上（スラーとリズムはC-dur に準ずる）
- ② 第6、7、8番は各々冒頭から4小節目までを、速やかに続けて演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上（スラーは16分音符4個以上とする）

(2) B. Campagnoli : 41 Caprices (B. カンパニョーリ『41のカプリース』) から任意の1曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の1曲

(3) 次の(イ)～(ニ)より任意の1曲

(イ) Johann Christian Bach : 協奏曲ハ短調より 第2楽章、第3楽章（カデンツァを含む）

(ロ) Carl Stamitz : ヴィオラ協奏曲ニ長調作品1 より 第1楽章（カデンツァを含む）

(ハ) Franz Hoffmeister : ヴィオラ協奏曲ニ長調 より 第1楽章（カデンツァを含む）

(ニ) 上記の(イ)～(ハ)と同程度もしくはそれ以上の曲から1曲（出版社の指定なし）

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること（出版譜に限る）。

※ヴァイオリンによる受験可。出願書類の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

■チェロ

(1) 音 階

任意の長調、短調を4オクターヴ（4音を1弓で演奏すること）

(2) 練習曲

次の(イ)～(ハ)より任意の1曲

(イ) D. Popper : Hohe Schule des Violoncellspiels, Op. 73（ポッパー：40の練習曲）

(ロ) J. L. Duport : 21 études（デュポール：21の練習曲）

(ハ) A. Schroeder : 170 foundation studies for violoncello, 2（シュレーダー：170の基礎練習第2巻）

(3) 任意のチェロ協奏曲より第1楽章または最終楽章

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること（出版譜に限る）。

■コントラバス

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。



(2) 下記のいずれかを選択すること。

(イ) 任意のソナタより第1楽章と第2楽章

(ロ) 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章

※オーケストラチューニング、暗譜で演奏すること。

※(2)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

■ハープ

(1) F. J. Naderman : 7 Sonates progressives, Op. 92 より任意の第1楽章

(2) 自由曲 (J. L. Dussek のソナタまたは同程度の難易度の作品) 1曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

■クラシックギター

(1) F. Sor または H. Villa-Lobos の練習曲より任意の1曲

(2) 自由曲1曲

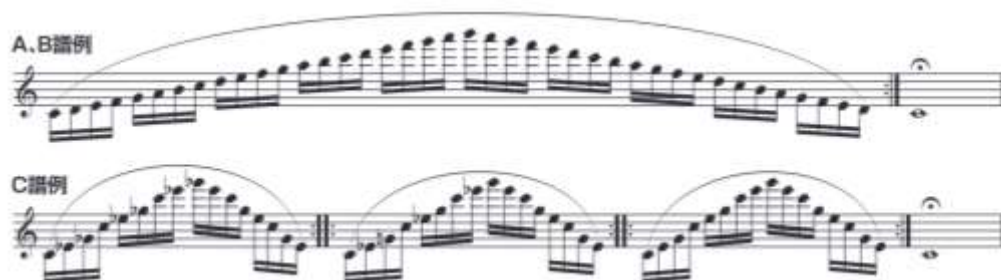
※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

木管楽器課題曲

■フルート

(1) 音階および分散和音

M. Moyse : Exercices journaliers pour la flûte (M. モイーズ『フルートのための日課練習』) より 長音階 (A)、短音階 (B)、分散三和音 (C) を演奏する。♩ = 60 (譜例参照)



(2) J. Andersen : 24 Studies for flute, Op. 21 (J. アンデルセン『24のエチュード 作品 21』) より Nos. 1, 5, 6

(3) W. A. Mozart : フルート協奏曲 第 2 番 ニ長調 K. 314 より第 1 楽章 (カデンツァは含まない)

※いずれも版の指定なし。暗譜の必要なし。演奏箇所は当日指定する。

※ (3) の伴奏者は大学が用意する (楽譜の提出不要)。

■オーボエ

(1) 音 階

次の A、B いずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜。



(2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op. 31 (F. W. フェルリンク『48のエチュード』) Nos. 5-10 の中から当日指定する。

※ (2) は版の指定なし。暗譜の必要なし。

■クラリネット

(1) 音 階

R. Eichler : Scales for Clarinet より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は当日指定する。暗譜。

(2) E. Cavallini : 30 Capricci (Ricordi) より Nos. 16, 19, 22 の3曲。演奏箇所は当日指定する。

(3) 次の2曲のうちいずれかを演奏すること。

C. M. v. ウェーバー : クラリネット協奏曲 第1番 ヘ短調 作品73 より

第1楽章 (Baermann のカデンツを含む)。前奏は Solo の10小節前より

C. M. v. ウェーバー : クラリネット協奏曲 第2番 変ホ長調 作品74 より

第1楽章。前奏は Solo の6小節前より。

※伴奏者は大学で用意する。

■ファゴット

(1) 音 階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定。暗譜。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 の Nos. 1-15 より当日2曲を指定。

(3) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 の Nos. 22-43 より任意の1曲。

※ (2) (3) は暗譜の必要なし。

■サクソフォーン

⇒ アルト・サクソフォーンで演奏すること。

(1) 音 階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から当日指定。暗譜。繰り返しなし。

音階譜例



(2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones (F. W. フェルリンク 『サクソフ
ォンのための 48 の練習曲』 [M. ミュールによる増補改訂版] A. Leduc) より任意の奇数番
号 1 曲と任意の偶数番号 1 曲の計 2 曲を演奏すること。

(3) 自由曲 1 曲 (編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)

※ (2) (3) は暗譜の必要なし。

金管楽器課題曲

共通課題（音階および分散和音）

次の例にしたがって、長音階と短音階を暗譜で演奏すること。調性、音域は当日指定する。



■ホルン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) W. A. Mozart : ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K. 447 より 第1楽章（カデンツァなし）

※(2) は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する（伴奏譜の提出不要）。前奏は Solo の4小節前より始め、それ以降のカットなし。

■トランペット

(1) 分散和音

以下の音型を実音。B-dur で開始し、順次 E-dur まで下がること。暗譜。



(2) 共通課題（音階および分散和音）

(3) J. B. Arban : Fantaisie Brillante（華麗なる幻想曲）より主題と変奏曲 I、II、III

Arban's Complete Conservatory Method 所収

※(3) は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する（伴奏譜の提出不要）。序奏なし。

[使用楽譜] J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』No.3 (ISR Collection, 全音楽譜)

■トロンボーン

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (C. Fischer) より No. 39 (全曲)、No. 12 (33 小節目から最後まで)
- (3) G. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (G. コブラッシュ『60 のエチュード (トロンボーン)』(全音楽譜))より No. 35
※繰り返しなし。暗譜の必要なし。

■バス・トロンボーン

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (C. Fischer) より No. 39 (全曲)、No. 12 (33 小節目から最後まで)
※1 オクターヴ下げて演奏してもよい。
- (3) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment より No. 7
※暗譜の必要なし。

■テューバ

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) G. Kopprasch : 60 Selected Studies (R. King Music) Nos. 12、14、16、20、22
M. Bordogni : 43 bel canto studies (R. King Music) Nos. 1、4、7、12、14
以上の中から当日指定する。いずれも途中でカットする場合がある。
- (3) J. S. Bach : Air and Bourrée (Wm. J. Bell 編曲)
※暗譜の必要なし。伴奏なし。

■ユーフォニアム

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone の Nos. 3、4、5 より当日 1 曲を指定する。
- (2) J. B. Arban : Variations on a Song “Vois-tu la neige qui brille” (The Beautiful Snow) (「輝く雪」の歌による変奏曲) Arban's Complete Conservatory Method 所収
※ (2) (3) は暗譜の必要なし。版の指定なし。
※ (3) の伴奏者は大学が用意する (伴奏譜の提出不要)。前奏なし。
[使用楽譜] J. B. アーバン『12 の幻想曲とアリア』 No. 5 (ISR Collection, 全音楽譜)

打楽器課題曲

ティンパニ、小太鼓、マリンバのいずれかの課題で受験すること。

■ティンパニ

- (1) ロール *pp* $\longleftarrow$ *ff* $\longrightarrow$ *pp* (30 秒以上)
- (2) R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger) の Nos. 19、26、39、40、43、44 より当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) 小太鼓による 2 つ打ち (楽器は各自持参のこと)
- (5) マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■小太鼓

- (1) 2 つ打ち、ロール *pp* $\longleftarrow$ *ff* $\longrightarrow$ *pp* (30 秒以上)
- (2) A. J. Girone : Portraits in Rhythm の Nos. 13、15、18、28、37 より当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■マリンバ

- (1) 3 オクターヴの長音階、短音階、分散和音。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。
- (2) M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 Etudes より XV (15 番)。
- (3) 自由曲 (伴奏なし)
- (4) 簡単な初見演奏
- (5) 小太鼓による 2 つ打ち (楽器は各自持参のこと)